



32:37 主は言われる。「彼らの神々は、どこにいるのか。彼らが頼みとした岩はどこにあるのか。

32:38 彼らのいけにえの脂肪を食らい、彼らの注ぎのぶどう酒を飲んだ者はどこにいるのか。彼らを立たせて、あなたがたを助けさせ、あなたがたの盾とならせよ。

32:39 今、見よ。わたしこそ、それなのだ。わたしのほかに神はいない。わたしは殺し、また生かす。わたしは傷つけ、またいやす。わたしの手から救い出せる者はいない。

32:40 まことに、わたしは誓って言う。『わたしは永遠に生きる。

32:41 わたしがきらめく剣をとぎ、手にさばきを握るとき、わたしは仇に復讐をし、わたしを憎む者たちに報いよう。

32:42 わたしの矢を血に酔わせ、わたしの剣に肉を食わせよう。刺し殺された者や捕われた者の血を飲ませ、髪を乱している敵の頭を食わせよう。』」

32:43 諸国の民よ。御民のために喜び歌え。主が、ご自分のしもべの血のかたきを討ち、ご自分の仇に復讐をなし、ご自分の民の地の贖いをされるから。

32:44 モーセはヌンの子ホセアといっしょに行き、この歌のすべてのことばを、民に聞こえるように唱えた。

32:45 モーセはイスラエルのすべての人々に、このことばをみな唱え終えてから、

32:46 彼らに言った。「あなたがたは、私が、きょう、あなたがたを戒めるこのすべてのことばを心に納めなさい。それをあなたがたの子どもたちに命じて、このみおしえのすべて

のことばを守り行なわせなさい。

32:47 これは、あなたがたにとって、むなしなことばではなく、あなたがたのいのちであるからだ。このことばにより、あなたがたは、ヨルダンを渡って、所有しようとしている地で、長く生きることができる。」

32:48 この同じ日に、主はモーセに告げて仰せられた。

32:49 「エリコに面したモアブの地のこのアバリム高地のネボ山に登れ。わたしがイスラエル人に与えて所有させようとしているカナン地を見よ。

32:50 あなたの兄弟アロンがホル山で死んでその民に加えられたように、あなたもこれから登るその山で死に、あなたの民に加えられよ。

32:51 あなたがたがツインの荒野のメリバテ・カデシュの水のほとりで、イスラエル人の中で、わたしに対して不信の罪を犯し、わたしの神聖さをイスラエル人の中に現わさなかったからである。

32:52 あなたは、わたしがイスラエルの人々に与えようとしている地を、はるかにながめることはできるが、その地へは行って行くことはできない。」

34 節から 43 節は主がイスラエルの敵に復讐してくださるということが述べられています。どんなに主の恩を忘れても、それで主に背くことがあっても、主に立ち返るなら愛で回復してくださるのが神様です。主に背いていた時は、敵にやられっぱなしであったでしょうが、主に立ち返るなら状況は一変します。主は敵に「血のかたきを討つ」てくださるのです。

また主は「イスラエル人に与えて所有させようとしているカナン地」を見せて、大いなる希望

を与えてくださいました。主の希望を見せていただきましょう。その希望のゆえに主意従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

